

住まいのニュース

Vol.83



自分に合った収納法を見つけよう♪

利き脳を使った収納術

「利き脳」で自分の得意分野を知る

自分に合った収納方法を知る手がかりとして、まず「利き脳」を知ることから始めます。

「利き脳」とは、利き手と同じように無意識に優位に使う脳タイプのことです。

指組みと腕組みをして「利き脳」をチェックしてみましょう。

指組み (インプット脳)



腕組み (アウトプット脳)



右親指が下→右脳タイプ 左親指が下→左脳タイプ 右腕が下→右脳タイプ 左腕が下→左脳タイプ

指組みで、情報を取り入れる時に使う「インプット脳」を知ることができ、さらに、腕組みでは、情報を言葉や行動で表す「アウトプット脳」がわかるとされています。

片付けに当てはめると、「インプット脳」は、ものを探す時、「アウトプット脳」は、ものを収納場所に戻す時です。それぞれの傾向がわかると「探しやすい」「戻しやすい」方法が見つかります。

利き脳タイプ別の特徴と片づけ方法

右・右脳タイプ (直感的に捉え、感覚的に処理するタイプ)

指組み：右脳タイプ 腕組み：右脳タイプ

パッと出して、パッと戻せる収納がおすすめ

直観力にすぐれ、直ぐに行動に移すことができます。興味がないと持続しなかったり、気分が流されやすく衝動的に行動してしまう面も。

モノの位置を感覚的に把握することが得意です。しかし、元に戻すことが苦手なので、パッと出して、パッと戻せる収納や、ざっくりとした収納がおすすめです。見た目がイメージ通りだとやる気ができます。

- ・見えないと忘れてしまうので、一目見てわかるように
- ・アクション数を減らして直ぐに出して片付けられる
- ・色や素材別に分けると元に戻しやすくなる

右・左脳タイプ (直感的に捉え、論理的に処理するタイプ)

指組み：右脳タイプ 腕組み：左脳タイプ

ビジュアル重視でお店のような見せる収納がおすすめ

自分の理想をしっかりと持っていて、実現に向けて頑張れます。デザインセンスがある人です。

自信のないことには消極的で、行動に移せないことがあります。片づけでは、カタチから入り、収納用品から揃えてしまいます。ビジュアル重視で、美しさだけでなく機能面も満たしたい完璧主義な面があります。コツコツすることが苦手で、一足飛びに行動を起こしがちです。

- ・ビジュアル重視で色や収納用品を揃える
- ・細かく仕切りながらざっくり収納がおすすめ
- ・見える場所はビジュアル重視で見えない場所はざっくり

左・左脳タイプ (論理的に捉え、感覚的に処理するタイプ)

指組み：右脳タイプ 腕組み：右脳タイプ

機能性重視で、使うモノを使う場所の近くに収納

計画を立てて、着実にこなすことが得意。考えすぎて慎重な面もあります。計算式などの文字情報に強く、デザインよりも機能性と合理性を優先する傾向があります。

一般的な片づけが得意なタイプ。片づけも優先順位が下がるとやらないので、すべき理由を見つけて取りかかるとよいです。ラベルの管理や細かく仕切ったキッチンとした収納が得意。

空間認識がないため、フリーな空間が苦手。使用頻度でモノを分けるのが得意なタイプ。

- ・機能性や使用頻度に応じた分け方を
- ・細かく仕切られた隠す収納がおすすめ
- ・ラベル管理をするとモノを元に戻しやすくなる

左・右脳タイプ (論理的に捉え、感覚的に処理するタイプ)

指組み：左脳タイプ 腕組み：右脳タイプ

カンタンに元に戻せる、ざっくり収納がおすすめ

物事を論理的に捉えることを好むので、学ぶことや情報収集をしっかりとします。しかし、それをなかなか行動に移せないで、理想と行動に悩むことも。何事もハードルを下げるのが大切です。一般的なやり方より、収納はマイルールを見つけることで、うまくいきます。探す時にはラベリングが必要な人もいます。見えないものは、忘れてしまいがちなので吊るす収納など簡単なアクションの収納が向いています。

- ・自分が納得する方法を見つけることが大切
- ・細かい分類は苦手なのでざっくり収納がおすすめ
- ・見た目より使い勝手を優先する

建設中現場のご紹介



K様邸(福知山市)



K様邸(福知山市)



U様邸(丹波篠山市)



K様邸(丹波篠山市)



U様邸(丹波篠山市)



A様邸(福知山市)



T様邸(丹波市)



E様邸(福知山市)



Y様邸(福知山市)



S様邸(福知山市)



A様邸(福知山市)

テレビの大きさの決め方

テレビのサイズは、最適な視聴距離が取れるものを選ぶのがおすすめです。
また見やすいと感じる距離をとるには、部屋の広さも鑑みる必要があります。



今回の担当は、

プランナー

です。
水島 風花

テレビと人の視聴距離が重要

テレビにはサイズや画質に応じて、映像の粗が目立たず、美しく迫力のある映像を楽しむことのできる視聴距離があります。これを適正視聴距離といいます。



4K テレビの視聴距離

4K テレビの適正視聴距離は、画面の高さの1.5倍、フルHDテレビなら画面の高さの約3倍が目安です。画面のサイズによっても異なり、各サイズの具体的な視聴距離は以下の通りです。

サイズ	画面の高さ	視聴距離(フルHD)	視聴距離(4K)
32インチ	約39cm	約1.2m	約0.6m
40インチ	約50cm	約1.5m	約0.7m
43インチ	約57cm	約1.6m	約0.8m
50インチ	約65cm	約1.9m	約0.93m
60インチ	約75cm	約2.2m	約1.1m
70インチ	約87cm	約2.6m	約1.3m

8K テレビの視聴距離

8K テレビの適正視聴距離は、画面の高さの0.75倍と言われています。適正とされる距離は近くなりますが、これはあくまで画質を基準にしたときの適正距離です。

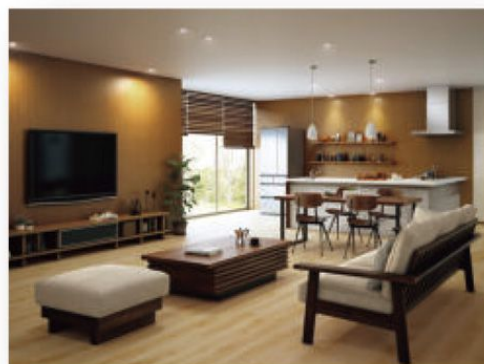
現在発売されている8Kテレビは、1番小さいものでも60型と大型サイズで、この目安で計算すると約56cmになります。しかし実際にこの距離で視聴してみると、圧迫感を感じるかもしれません。

目安はあくまでも参考程度にしておき、実際に視聴する際は負担を感じない距離を取るようにしましょう。

部屋の広さによる参考サイズ

部屋の広さによって、適したテレビのサイズも違います。部屋の大きさと画質ごとのテレビの大きさの目安は下記の通りです。

部屋の大きさ	フルHD	4K
4.5~6畳	43インチまで	43インチまで
8畳	43~49インチまで	55インチまで
10畳以上	50インチ以上	60インチ以上



4.5帖~6帖の小さな部屋なら、43インチまでのものを選ぶのがおすすめですが、圧迫感を感じそうなら、4KよりもフルHDのより小型なタイプを選んだ方がよいでしょう。

■未来を担うゼロエネルギー住宅

ウィズ
— With —

省エネの工夫で
消費エネルギーを減らし、
使うエネルギーは自ら創り出す。
究極のエコロジー住宅です。



LINEからチャット感覚で
お問合せ・カタログ請求

